

地球環境局総務課（国際ライン）

1. 事業の必要性、概要

- ・ 地球環境保全の推進のためには、各国や国際機関、産業界等の動向や国際会議等での議論を踏まえつつ、我が国としての国際連携戦略を構築することが急務である。
- ・ 特に、「持続可能な開発に関する国際的枠組」「グリーン経済」を主要テーマとして2012年（平成23年）に開催される「リオ+20（持続可能な開発会議）」に向けての議論を、国際的な連携を図りつつ、我が国が戦略的にリードしていく必要がある。
- ・ また、経済のグリーン・グローバル化が進む中で、世界貿易機構（WTO）や自由貿易協定（FTA）、経済連携協定（EPA）等で、貿易と環境の相互支持性の強化が重要な論点となっており、そのための国際的な議論・交渉に積極的に参画することが必要である。

2. 事業計画（業務内容）

① リオ+20に係る取組等に関する調査・分析

- ・ 各国政府や国際機関（UNDESA、UNEP、OECD）における環境分野（特に「リオ+20」の主要テーマ及び貿易と環境に関するもの）の取組状況や論点等についての調査・分析及びそれら国際的動向を踏まえた地球環境保全のための国際連携戦略の検討。

② GEA、UNDESA、関係各省等と実施する国際会議の開催

- ・ 「リオ+20」に提案すべき事項をとりまとめるため、地球環境行動会議（GEA）や UNDESA 等の国際機関、関係各省等との共催で、国内外の各界（政界・学会・産業界）指導者等を招集した国際会議を開催。

3. 施策の効果

- ・ 国際連携戦略を構築し、各国や国際機関と連携した地球環境保全の取組を推進。特に「リオ+20」に向けて積極的に貢献。
- ・ 経済のグローバル・グリーン化を推進することにより、新成長戦略で示されている「50兆円超の環境関連新規市場」や「140万人の環境分野の新規雇用」等の2020年目標の達成へ貢献。

国際連携戦略推進費

